

日商簿記検定 2 級講座

工業簿記

【第 1 1 回】

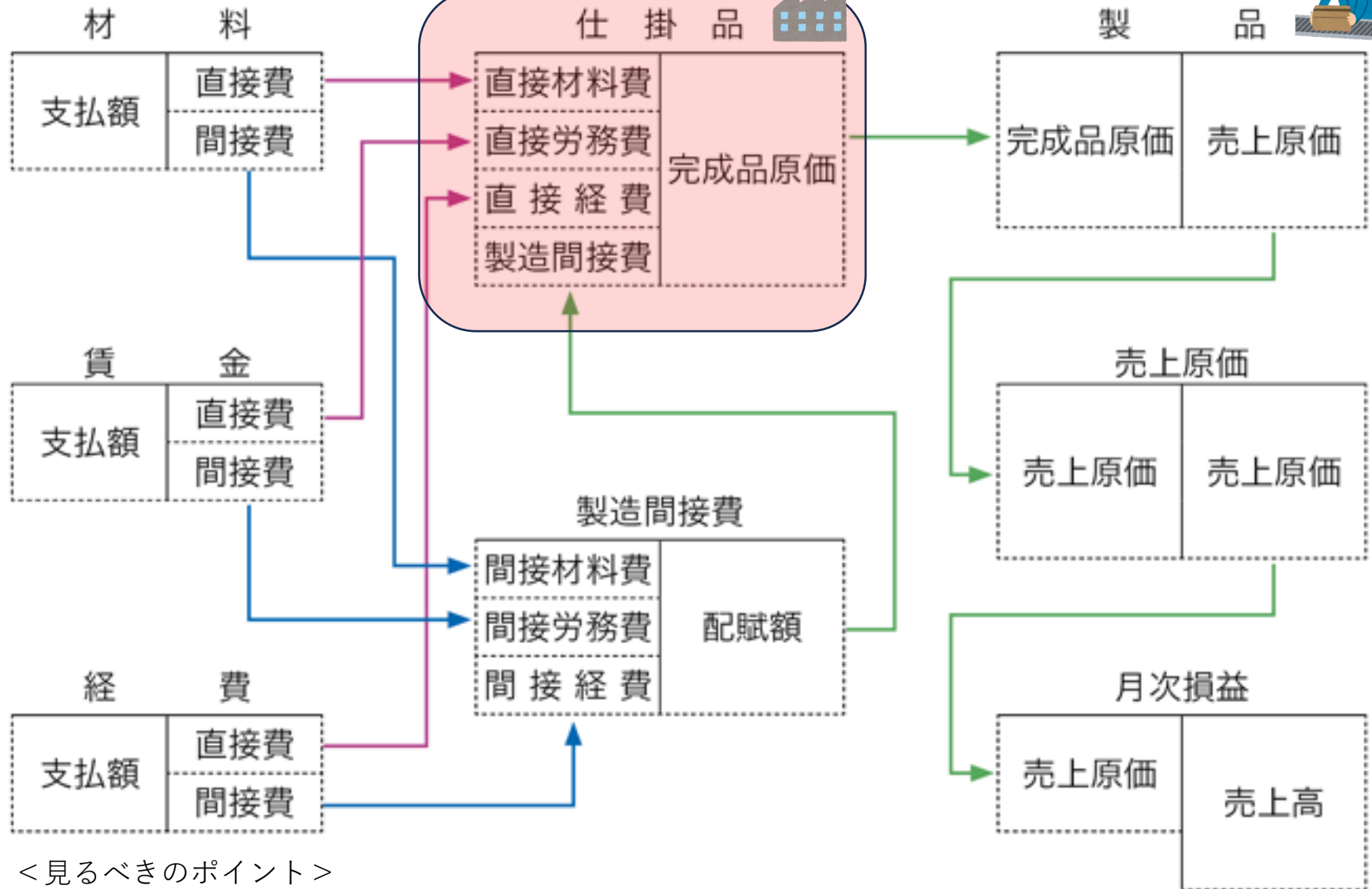
総合原価計算Ⅱ

第 1 1 回講義の内容

テーマ 1 3	総合原価計算Ⅱ	1 3 8 ページ
---------	---------	-----------



「勘定連絡図」(P63)を確認してください。



<見るべきのポイント>

- ①直接費と間接費で行き先が異なる
- ②間接費は製造間接費勘定を經由して配賦される。

<設例12-3> 単純総合原価計算の月末仕掛品原価の計算 (P134)

当社はカラーボールを大量生産している。下記資料により、月末仕掛品原価と完成品原価を求めなさい。

(資料)

1. 生産データ

月初仕掛品	0個
当月投入	4個
合計	4個
月末仕掛品	2個
完成品	2個

(50%)

2. 原価データ

	直接材料費 (白ボール)	加工費 (ボールの色塗り)
月初仕掛品	0円	0円
当月投入	600円	600円

材料はすべて工程の始点で投入している。
()内の数値は「加工進捗度」である。

1. 計算方法 (BOX図を使って考える)

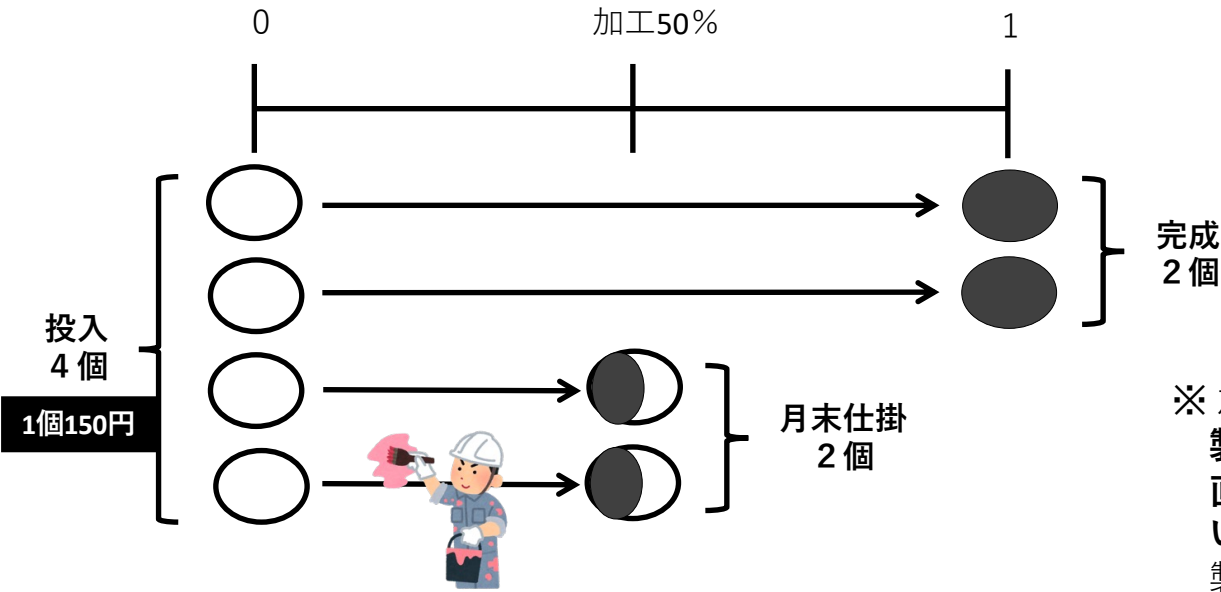
仕掛品 - 直接材料費

当月	個	完成	個
			円
	円	月末	個
			円

仕掛品 - 加工費

当月	個	完成	個
			円
	円	月末	個
			円

計算方法その1：個別原価計算でやってみる（直課と配賦）



2.原価データ

	直接材料費 (白ボール)	加工費※ (ボールの色塗り)
当月投入	600円	600円

※ 加工費の内訳は、**直接労務費300円と製造間接費300円**とする。
直接工の作業時間は加工100%までといって**1個2時間**とする（50%だとその半分）。
 製造間接費は、**直接作業時間を基準**に配賦する。

原価計算表（原価の計算）→個別原価計算

(単位：円)

	ボール1	ボール2	ボール3	ボール4	合計
直接材料費					
直接労務費					
製造間接費					
合計					
備考	完成	完成	50%加工 で未完成	50%加工 で未完成	

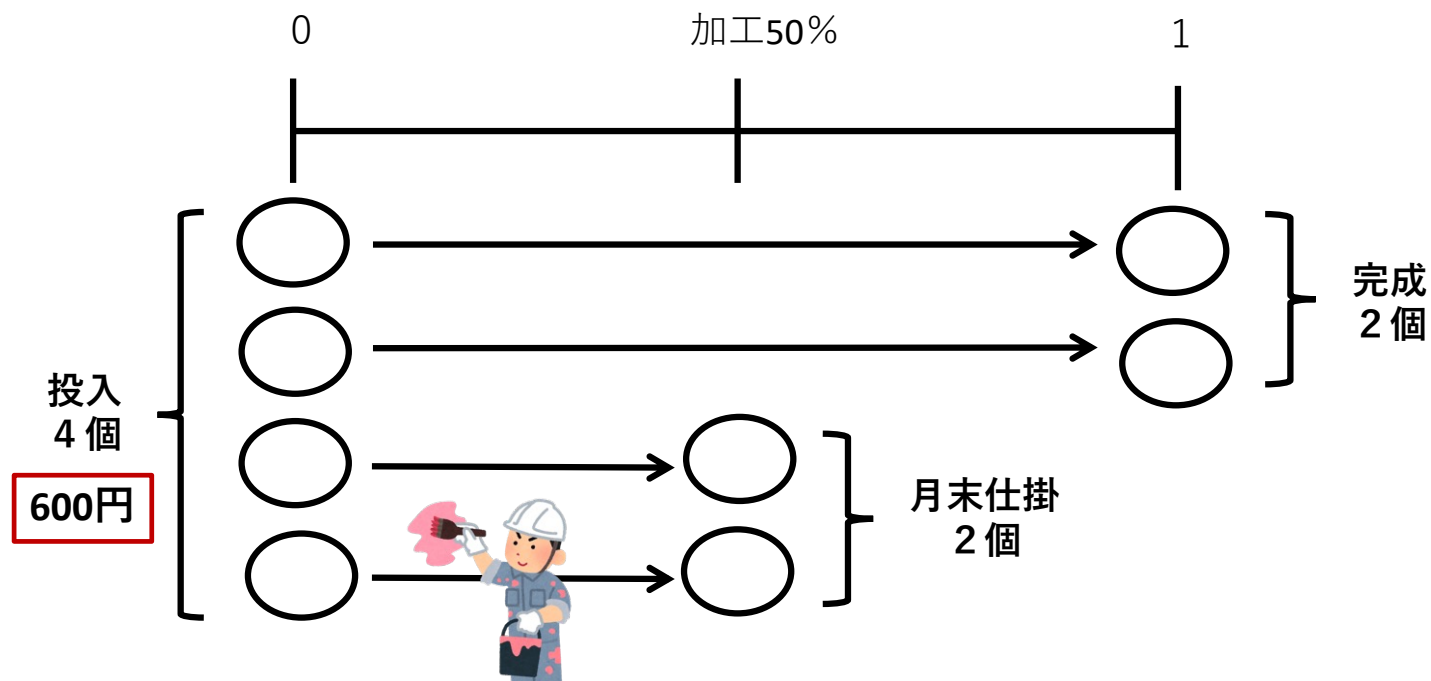
直課
直課
配賦

ちなみに・・・
 ボールが**100個**、**1,000個**、**1万個**と
 生産する場合は、
 このような計算をす
 るとどうなるでしょ
 うか？



計算方法その2：総合原価計算でやってみる（期間生産量に基づく配分計算）

(1) 材料費の計算→白いボールの部分だけ計算



計算方法（BOX図を使って考える）

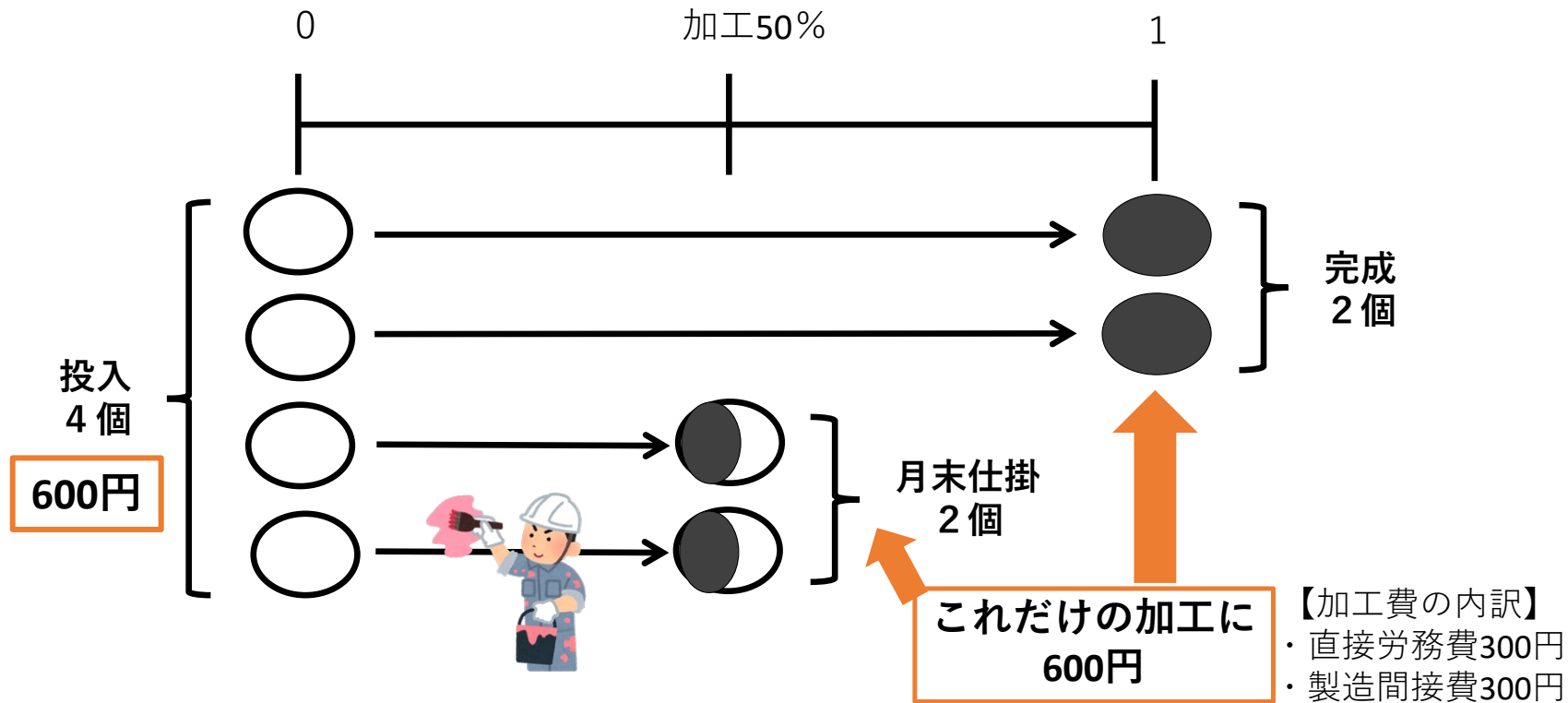
仕掛品－材料費

「個数」で割ってください

当月	個	完成	個
			円
	円	月末	個
			円

完成品原価	円	完成品単価	円
月末仕掛品原価	円	月末仕掛品単価	円

(2) 加工費の計算→白いボールに色を塗る加工作業



計算方法 (BOX図を使って考える)

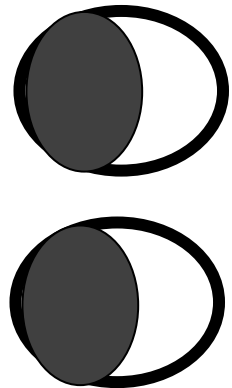
仕掛品－加工費

当月	個	完成	個
			円
	円	月末	個
			円

「個数」で割ってください

完成品原価	円	完成品単価	円
月末仕掛品原価	円	月末仕掛品単価	円

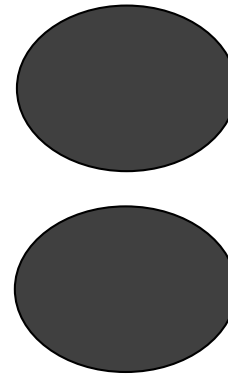
加工進捗度**50%**



300円

月末仕掛
2個

加工進捗度**100%**



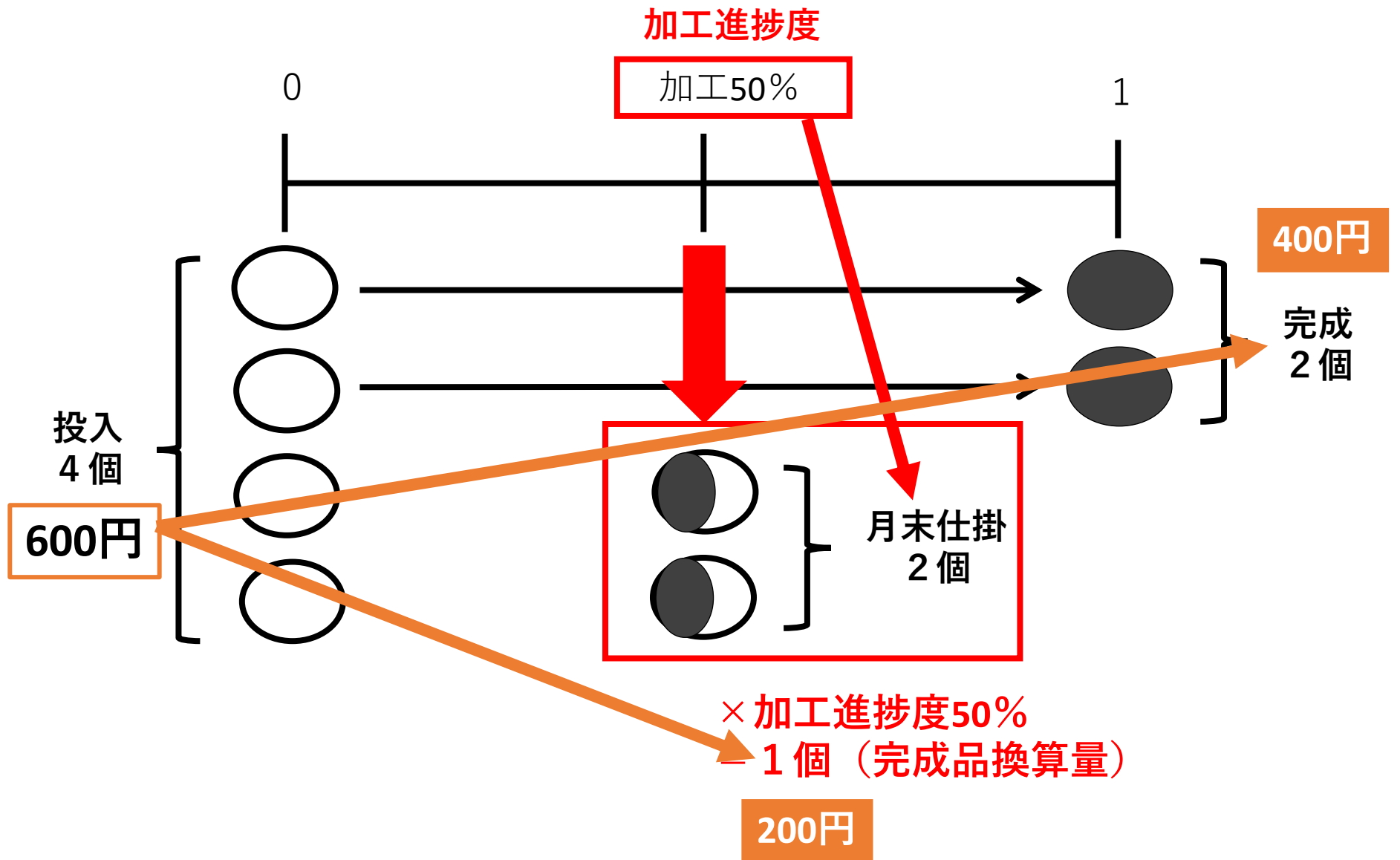
300円

完成
2個



半分しか加工していない（加工進捗度**50%**）のに月末仕掛品と完成品が同じ原価っておかしくない？

「加工費」の計算の考え方



< 設例13-1・13-2 > 単純総合原価計算の月初仕掛品がある場合の計算 (P139)

当社はカラーボールを大量生産している。下記資料により、月末仕掛品原価と完成品原価を求めなさい。月末仕掛品原価の計算方法は**(1)平均法**と**(2)先入先出法**による。

(資 料)

1. 生産データ

月初仕掛品	50個
当月投入	75個
合計	125個
月末仕掛品	25個
完成品	100個

(0.2)

(0.8)

2. 原価データ

	直接材料費 (白ボール)	加工費 (ボールの色塗り)
月初仕掛品	5,340円 (@106.8)	1,080円
当月投入	8,160円 (@108.8)	14,520円

材料はすべて工程の始点で投入している。
() 内の数値は「加工進捗度」である。

1. 平均法における計算方法 (BOX図を使って考える) P139

仕掛品－直接材料費

月初	個 円	完成	個 円
当月	個 円	月末	個 円

仕掛品－加工費

月初	個 円	完成	個 円
当月	個 円	月末	個 円

2. 先入先出法における計算方法 (BOX図を使って考える) P141

仕掛品 - 直接材料費

月初	個 円	完成	個 円
当月	個 円		
		月末	個 円

仕掛品 - 加工費

月初	個 円	完成	個 円
当月	個 円		
		月末	個 円



【参考】 このように考えることができる



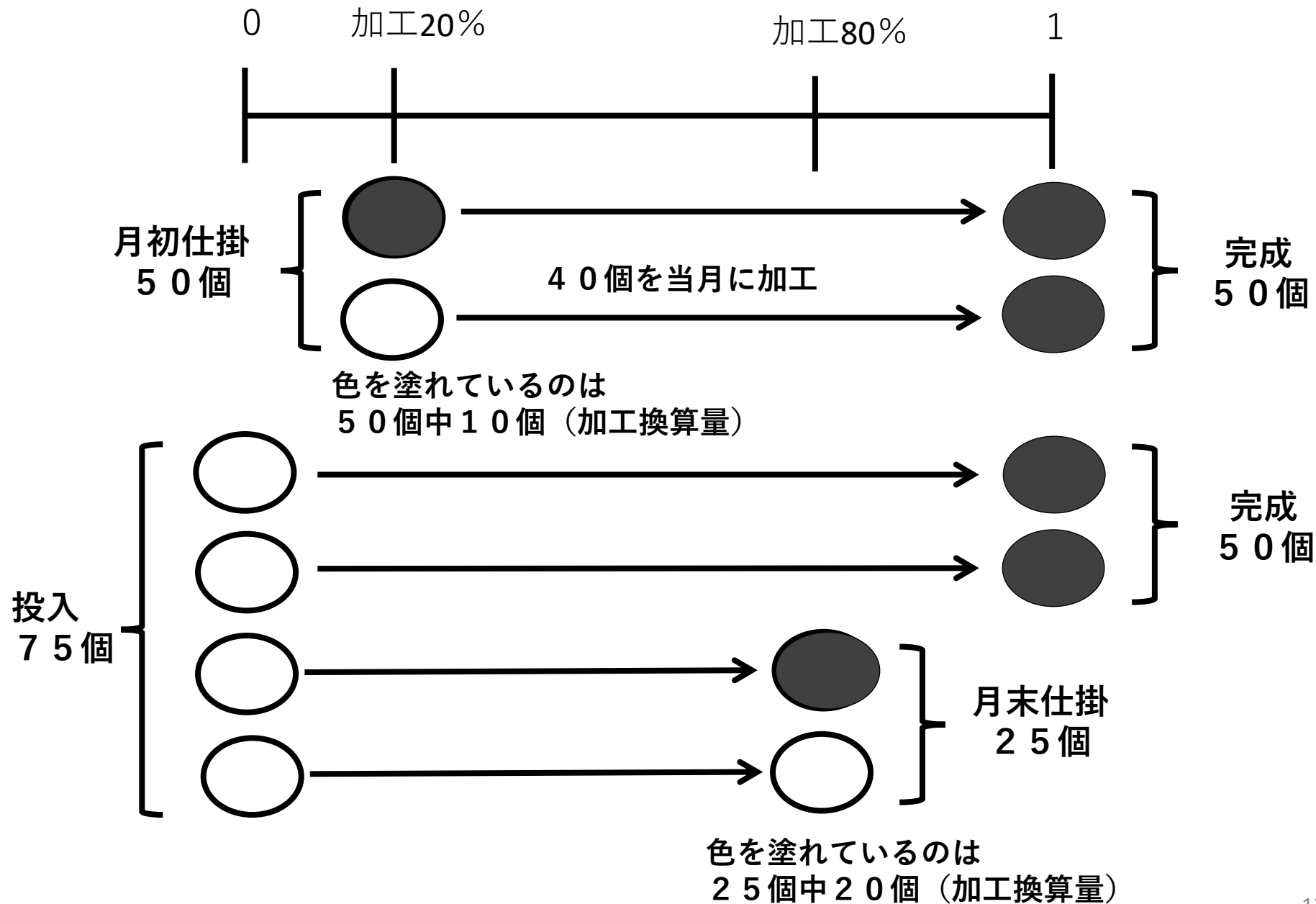
仕掛品 - 直接材料費

月初	50個 5,340円	完成	50個 5,340円	} 完成 100個
当月	75個 8,160円	完成	50個 円	
		月末	25個 円	

仕掛品 - 加工費

月初	10個 1,080円	完成	10個 1,080円	} 完成 100個
当月	110個 (差額で出す) 14,520円	完成	40個 円	
		完成	50個 円	
		月末	20個 円	

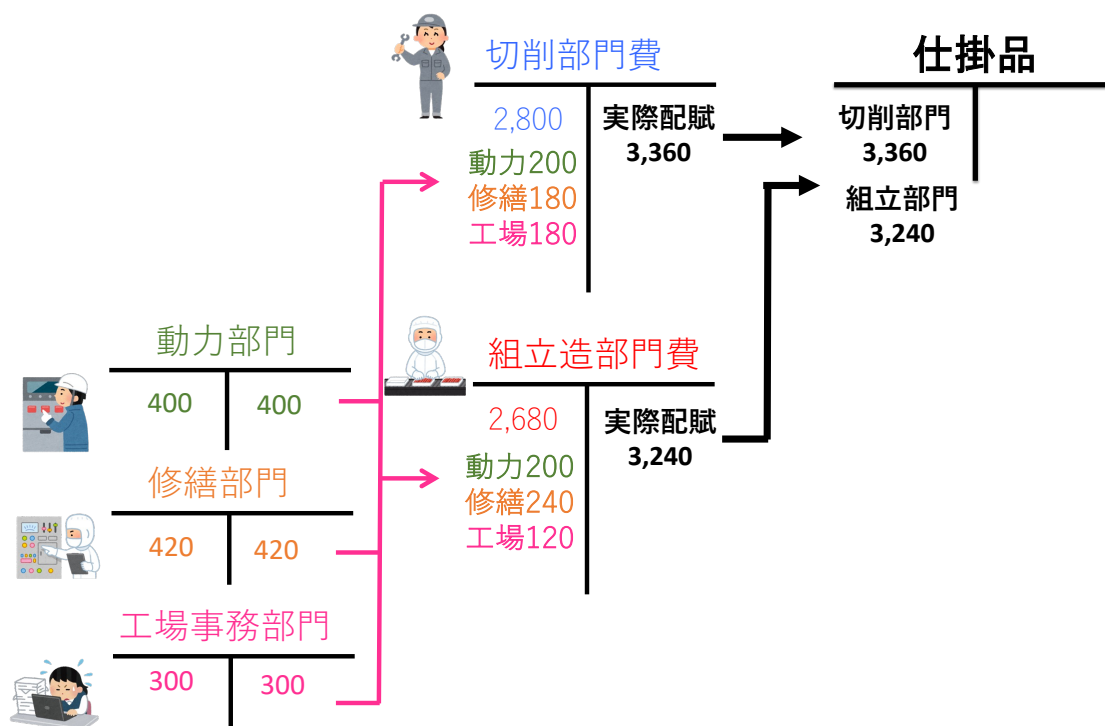
2. 計算の考え方



ここまでの内容を話し合って復習してみましょう。

テキスト 120 ページ

【基本例題25】部門別計算



【基本例題25】 を題材に原価計算表も作成してみてください。

原価計算表（原価の計算）→部門別個別原価計算

（単位：円）

	No. 1 戦艦大和	No. 2 タイタニック号	合 計
直接材料費			800,000
直接労務費			900,000
組立部門費			1,000,000
仕上部門費			1,110,000
合 計			3,800,000
備 考	完 成	完 成	

（原価計算のための追加資料）

1. 直接材料費

No. 1 に400,000円、No. 2 に400,000円消費した。

2. 直接労務費

直接工の直接作業時間は1,000時間であり、その内訳は
No. 1 が600時間、No. 2 が400時間であった。

3. 製造間接費について（いずれも月ベース）

(1) 組立部門の製造間接費予算額は1,000,000円であり、
基準操業度は1,000時間（直接作業時間＝配賦基準）
であった。

(2) 仕上部門の製造間接費予算額は1,100,000円であり、
基準操業度は1,100時間（機械運転時間＝配賦基準）
であった。

なお、実際の機械運転時間は、No. 1 が600時間、
No. 2 が500時間であった。